

令和3年度（2021年度）豊中市立図書館関係団体向け勉強会

【1. 開催概要】

実施日	令和4年（2022年）3月16日（水） 14時00分～16時00分
実施方法	岡町図書館集会室またはリモート（Zoom）での受講
進行（当初スケジュール）	
14時00分	開会挨拶・進行説明
14時10分	第1部「豊中市における公民学連携の取組みについて」 （説明：創造改革課 橋爪主査 説明20分+質疑15分）
14時45分	（10分休憩）
14時55分	第2部「（仮称）中央図書館の整備に向けた検討状況」 （説明：読書振興課 芦田主査 説明25分+質疑15分）
15時35分	第3部「（仮称）中央図書館基本構想に基づく取組み状況」 （説明：野畑図書館 虎杖館長 説明10分+質疑10分）
15時55分	閉会挨拶・受講感想記入



（勉強会の様子）

参加者 会場21人 リモート14人 合計35人

【2. 各部の質疑・意見等】

第1部「豊中市における公民学連携の取組みについて」	
Q1	東リ株式会社との連携による桜井谷東小学校の学校図書館の床改修事業は無償か。
A1	床改修については市として予算措置をとらず、材料の調達や施工工事など無償で先方に実施していただいた。モデル事例であり、企業側も社会貢献的な目的もあったため無償での実現が可能であった。
意見	子どもや若い世代が悩み相談ができるような場があればよい。
	遊具があり、芝生があるというような公園と図書館が一体となった空間が欲しい。
	グループで話しながら学習できるような場が少ない。
	通学の合間に立ち寄れるような便利な立地に図書館があるとよい。
	病院の待合室のような本が古いところや少ないところに提供できるような取組もよいのでは

	ないか。
第2部「(仮称)中央図書館の整備に向けた検討状況」	
Q 1	格式ばった議論ではなく、ざっくばらんな議論がしたい。そのような議論がワクワクするような図書館の実現につながる。
A 1	図書館に関わらず施設には結果として作った人の思いが反映されていないものもある。綺麗な建物ができても施設が上手く活用されていない例も少なくない。意見が反映された図書館になるようにしていきたい。 議論についても、行政としては構えた形になってしまうことがあるが、ざっくばらんに議論をし、みんなで作った図書館という達成感を感じられるようにしたい。
Q 2	中央図書館基本構想のことを公示しているような表記を図書館内であまり見かけない。意見箱を設置するなど、みんなが意見を出しやすいような仕組みを作って欲しい。
A 2	図書館に関心を持ち、アンテナを張っている層にしか情報が届いていないように認識している。今まで図書館をあまり利用してこなかった層にも伝わるような仕組み作りを考えていきたい。
Q 3	中央図書館の候補地について、サウンディング型市場調査の報告発表からは豊中エリアの話が出てこなかったが候補には考えられていないのか。 現在の豊中エリアは名前の知名度に反して、活気がなく魅力を感じない。図書館ができれば賑わいが生まれるのではないか。
A 3	今回のサウンディング型市場調査の結果からは、候補地として豊中エリアについてあまり意見がでてこなかったがあくまで一意見として考えていただきたい。
Q 4	安城市図書情報館の障害者サービスは、身体障害者手帳、療育手帳を取得している人に対象を限定している。安城市のどのあたりの点を評価しているのか。
A 4	安城市図書情報館の解放感のある建物、公民が連携する中で適切に役割分担をし、全てを民間に委ねるのではなく公で担うべき部分は管理している点を評価している。 実際のサービスについては反面教師的な課題もあると捉えて、しっかりと考えていきたい。
第3部「(仮称)中央図書館基本構想に基づく取組み状況」	
Q 1	現在の対面朗読室は手狭であり、隣の音も聞こえてくる。また、部屋の立地も出入りができやすい1階にして欲しい。新しい図書館を作る際には、検討して欲しい。
A 1	対面朗読室においても、入り口が入りやすいところであることや部屋の大きさを考慮したい。
Q 2	バリアフリー図書の貸出については、障害の有無に関わらず利用できるのか。
A 2	バリアフリー図書の貸出について著作権法の範囲内で、視覚障害以外の方も利用できるように状況に応じた対応を考えることができるので、気軽に窓口にお問い合わせで欲しい。
Q 3	多文化サービスについて、取り組んでいる内容を教えて欲しい。
A 3	「おやこでにほんご」という子育て中の外国人の方が集まるイベントが、岡町図書館、庄内図書館、千里図書館で開催されており、図書館が交流の場を提供している。また、多文化の資料や日本の文化の資料を揃えている。 窓口での相談から、イタリア人の方によるイタリア語での読み聞かせを実施したこともある。今後も図書館として多文化共生につながるサービスを検討していきたい。

【3. 受講感想】

Q1. 第1部 豊中市における公民学連携について、ご意見やご感想をお願いします。

- ・図書館の集会室の使用・運営を民間でやってくれるところはないでしょうか。
- ・中高生にも使えるようにしてほしい。
- ・今は貸してあげる感が強い。音楽会や美術展、ダンススタジオなどもっと様々な行事が企画できるようにしてほしい。
- ・具体的なお話が聞けてよかった。
- ・子育て世代の方が気軽に絵本と出会えるために、移動図書館車が止まっている、テーブルや椅子が置いてあるなど身近に絵本と関われる仕組みがあればいい。
- ・このような機会、場を市民に向けて開いていただいたご苦労に感謝申し上げます。
- ・豊中市民がもっと気軽に公園とつながる場所（老人、若者、子どもたちなど、事業者などもコラボなどして、ゆっくり話しながら調べたり、選書できる場所）ができるといいと思います。
- ・ループバスなどがあると嬉しい。
- ・サウンディングによって、民間業者の意見聴取されることはよいと思うのですが、それと同等の熱心さで一般市民の声を聞いていただきたいと思います。
- ・やわらかい思考で様々な取り組みを創出することは大賛成です。ただ、民に利用されないようお気をつけて。
- ・豊中市の取り組んでいらっしゃる事がわかり、参考になりました。このようなお話を聞く機会がなかったので、豊中市民の一人としていい取り組みをしていただいていると感じます。
- ・いろいろ参考になるお話が聞けたと思います。
- ・過去に所属していた市民活動団体のイベント情報発信目的で「PIAZZA」アプリを利用したことがありますが利用者の大多数が子育て世代で、我が子が成人済みの私には話題が合わず、団体の解散と同時にアプリも退会しました。お話にあったように、豊中市内で活動する子育て系団体の方には有用なアプリだと思います。
- ・公民学連携を勉強させていただきました。
- ・「公民学連携」の定義についてはわかりましたが、今回、豊中市としてどのような地域課題に向けてこの連携をすすめていかれようとしているのか、を聞けたらよかった。
- ・とよ読書会に参加していて、自分と同世代以上の方たちと本の話をするのがとても楽しく、子どもや若い世代に図書館を利用してもらうには、そういう大人たちが楽しく本を読んでいる様子を知ってもらえたらいいのではないかと思います。
- ・私の頭のレベルでは、今回のお話から、民との連携から、図書館の機能の発展に、大きな効果があるとは想像ができませんでした。
「子育て世代が、もっと身近に、気軽に絵本に出逢えるまにしたい」
「中学生や高校生が、もっと図書館に足を運んでくれるようになるには？」
このテーマなら、親に時間のゆとりある経済生活、教育と受験のあり方、学校図書館の充実と市立図書館とのオンライン化、などとともに、図書館の設え、ではないかと思います。

Q 2. 第2部・第3部 (仮称)中央図書館の整備に向けた検討状況や、(仮称)中央図書館基本構想に基づく取組みについて、ご意見やご感想をお願いします。

- ・中央図書館構想の中に地域館や分館の役割についての議論を市民と共に続けて欲しい。
- ・市民の居場所、学習の場、コミュニケーションの場等本当に大切な場所です。
- ・令和9年の開設まで勉強会が再々もたれることにより意識が深まっています。
- ・大きくなっていくことは・・・、いいことでしょうか。すぐ身近で出向いていける場所がなくなることは淋しい。
- ・皆が集まりやすく、ゆっくりと読書もできる空間も作って欲しい。学生が机を使っている場合が多く、利用しにくい。
- ・器より中身だと改めて感じた。
- ・対面朗読室について
現状・・・室内が狭く、かつ備品置き場になっている。隣の部屋の音が入るなどする。
希望・・・防音の徹底。利用者のことも考えて1階すぐのところなど入りやすいところに設ける。
- ・具体的な説明でわかりやすく拝聴いたしました。
- ・曾根駅に中央図書館ができれば服部図書館と近くなります。もう少し、ばらついたところに図書館があればいいと思います。市民の方みんなに使いやすいようになって欲しいです。
- ・変に完成させず、常に現実の課題にもひらりひらりとしなやかに悩まず、みんなの英知をそこそこ実現して欲しい。
- ・中央図書館は2022年度中に候補場所を選定することになっています。市内全館で大きく(ベニヤ1枚分)来館者に知らせ、意見を求める箱を置き、出た意見を公表して欲しい。
- ・活気を感じられない豊中駅のまわりが図書館によってステキな町に変わりますように。
- ・もっと広くお知らせを！
- ・議論や対話を大切に進めていかれるようなので大変嬉しく感じます。会場で出された意見のように、中央図書館についてできるだけ情報発信していただくとありがたいです。
- ・A市図書館のお話を聞き、豊中市すこやかプラザの事が頭に浮かびました。ともに市の中心駅から徒歩数分の病院跡地ですから。豊中・岡町・曾根エリアで5,000㎡の面積を確保できる土地は有るのでしょうか。質疑にあったように、中央図書館新設話は豊中・岡町・曾根エリアだけでなく市全体を巻き込む話になるべきですが、北大阪急行沿線やモノレール沿線、南部エリアに住む市民は中央図書館基本構想を知らない方が多いでしょうね。
- ・全ての人がそれぞれに集える温かい場所になります様に。
- ・具体的な構想を進められていることがよく分かりました。一方で、会場からの意見にもあった通り、今回の勉強会に参加するまで、こうした構想があることすら知りませんでした。今後、広く周知されたり、意見を募集されたりしていくことを期待します。
- ・電子書籍についてですが、近隣市の電子書籍は、リフロータイプの資料が少なく、読み上げることができない画像のタイプが占めています。視覚障害等で読み上げを必要とする人たちのアクセシビリティに、課題があります。テキストデータの青空文庫は、そういう意味では大丈夫ですが、やはり、誰もが読みたいという資料群ではないのではないのでしょうか。図書館として、テキストデータの製作提供を検討してみたいかでしょうか。

- ・今回の勉強会に参加したのは、中央図書館の開設と共に、分館が統廃合されるという話を耳にしたからです。中央図書館ができるという情報をもっと広く知らせてほしいという意見が出ていましたが、できるだけ多くの一人ひとりの意見を聞いて、自分の意見が反映された図書館ができた、と感じられるような図書館にしてほしいです。
- ・中央図書館整備は、豊中市全域の図書館サービス整備でもあるので、全体を論じつつ、中央館構想を、常に知らせてほしい。規模や内容だけでなく、運営のコスト的な配分も、明確化してほしいと思う。市中の誰もが、アクセスできる図書館網設計を大事にしてほしいと思う。勉強会でけなしているみたいになってしまいましたが、A市のような、複合による集客や見栄えの良い図書館が、話題となります。しかし、図書館はあくまで、継続的に働くスタッフの専門性の発揮と蓄積が重要であり、誰ももの知る権利を保障するという社会の基礎です、コストと数値で測れない重要な機関のはずです。
- ・勉強会ありがとうございました。箱物の立派さよりいかに幅広い市民に利用され親しまれ愛されるかまずその中身が第一なのは言うまでもないですが、A市図書館のようなショッピングモールと合体したような複合施設は利便性や賑やかさ気軽さはあっても何か落ち着かない環境のように感じます。豊中の中央図書館はもっと図書館周囲の自然環境をも大事に考えた図書館であって欲しいです。
- ・中央図書館を作るからと言って地域に根付いている図書館を減らすのはもっての外です。デジタル化もよいですが実際に本に触れるのとは価値が違うことはみなさんも良くわかりだと思います。コストカットすべきはもっと他にあるのでは？
- ・幅広く募った意見がどのように反映されるのか、最終決定するまで今後も度々市民の声を聴いていただきたいと思います。

Q3. 今後、豊中市立図書館に期待することや、その他お気付きの点がありましたらお願いします。

- ・電子書籍・・・、手続きが難しくなるほど読書から離れていくのでは・・・。
- ・今後も子どもたち、親にお話し会を続けていけたら嬉しいです。近くに図書館があることが必要と思います。
- ・もっと市民が声をあげていけるよう工夫して欲しい。説明会をもっと開いてください。
- ・図書館で働く職員の数を減らすことをもっと議論してください。サービスの低下がもう始まっていると感じています。
- ・今後の図書館活動に不安を持っています。学校図書館や団体貸出のサービスも中央図書館基本構想に集約されていくのでしょうか。
- ・本日は場違いのところに来たかなと聞かせていただきました。図書館が新しくできるとは聞いておりました。まず、人の話、意見を聞くことができたことに感謝しながら、自分の意見として考えさせていただいて参加に自分の意見を。
喜んで使える図書館を楽しみにしております。
- ・電子書籍貸出サービスについては、まだ少し理解ができない状態です。
- ・図書館の本の消毒 BOX のようなもの（借りたあとに入れる）があるところがあります。コロナ禍のため、あればいいと思います。
- ・民度を高めることの我々庶民の最大の武器が公共図書館。
- ・格差社会の是正、国民みんなが主役で成長していける力の基本となる図書館。

- ・汗を流して下さっている職員の皆さんと、ボランティアをはじめ日々活動している市民の信頼が深まり、どんどん広がっていくことに私も微力ながら楽しく自分流に資していきたいと思います。
- ・子どもから大人まで自由に開放的に集えるところが図書館を軸に広がればいいなと思います。周りに広い庭、楽しめる施設もできるといいですね。
- ・企業の中にも熱心に考える人たちもいるということなので、そういう人たちと進めていければいいですね。
- ・読書バリアフリーの取り組み、すばらしいと思います。
- ・これから外国の人々への多文化サービスも必要となってくると思います。
- ・今回のような取り組みをされることに感謝しています。しかし、本当に目を向けて欲しいのは普通の来館者だと思います。関係団体と同等の配慮をしていただけたらと切望します。
- ・建物が立派なだけでは困ります。残念ながら生きていくうちには見られそうにありません。
- ・豊中のインクルーシブの考え方が大好きです。頑張ってください！
- ・年金生活者（高齢者）にとって、現在の公立の図書館はとても重要です。高齢者が参加できる取り組みが取り上げられると嬉しいです。高齢者も元気なうちはいろんな形で社会参加していけるので、その力を使っただけ（できる人は参加していける）ことで幅広い活動がなされたらと期待します。
- ・電子書籍貸出検討について、事を慎重に進めている印象を受けました。導入コストが紙媒体資料の2-3倍となり、一定の貸出回数を超過した場合は出版社に追加のライセンス料を払わなければならないことを初めて知りました。個人的には「雑誌」は紙媒体購入を廃止して電子書籍化した方がよいと思います。ページ切り取りの被害も出ず、付録を保管後廃棄する手間も省けるので。
- ・司書の数を減らさないで欲しい。
- ・図書館活動を全ての市民によりよいものにするため、障害者、外国人、子育て世代、若者など特に利用に対するハードルがあると考えられる人・関係団体へのヒアリングや調査をすすめ、誰もが使いやすい・行きたくなるような図書館のモデルになるような中央図書館を設置いただけるよう是非お願い致します。
- ・フィンランドヘルシンキのオーディ図書館のように、先駆的な取り組み（利用者のスペースを最大限確保、ミンや3Dプリンタの貸出など <https://current.ndl.go.jp/ca1963>）や、欧米の図書館で実施されているような常勤のソーシャルワーカーを設置するなど、より地域や暮らしに密着した図書館の在り方についても検討いただきたく思います。
- ・読書バリアフリー法のことを初めて知りましたが、豊中市立図書館の障害者サービス規程が素晴らしいと思いました。豊中市は障害児教育においても、統合教育に取り組んできた歴史があり、障害者を分けて支援するのではなく、すべての人にサービスを提供するということが徹底していることを誇らしく思います。